

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

（順不同・敬称略）

会議の名称	令和 5 年度第 1 回加須市介護保険運営協議会
開催日時	令和 5 年 7 月 26 日（水） 午後 1 時 15 分から午後 2 時 30 分まで
開催場所	加須市役所 504 会議室
議長氏名	三宅 仁 会長
出席委員	三宅 仁、内田 親、加藤 美津枝、藤咲 和子、小林 章子、 町田 由男、神田 修、梅澤 和正、太野 貴宏、爪木澤 和弥、 秋葉 豊二、鎗田 宏、大川 利行、佐藤 進
欠席委員	鈴木 勝幸
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 議事 （1）会長の選出 （2）令和 4 年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算 （案）等について （3）第 4 次加須市高齢者支援計画の進行管理【令和 4 年度の 実績と評価】 （4）第 5 次加須市高齢者支援計画の策定に係る検討について （5）地域ブロンズ会議から生まれた支え合い活動 （6）その他 5 閉会
会議資料 の名称	資料 1－1 令和 4 年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳 出決算（案） 資料 1－2 加須市介護保険事業の状況 資料 2 第 4 次加須市高齢者支援計画の進行管理【令和 4 年度の実績と評価】 資料 3 第 5 次加須市高齢者支援計画の策定に係る検討 について 資料 4 地域ブロンズ会議から生まれた支え合い活動
会議の公開又 は非公開の別	公開
非公開の理由	－

傍聴者の数	0 人
説明者の 職・氏名	福祉部高齢介護課長 山岸 弘通 福祉部高齢介護課主幹 杉山 大綱、萩原 宏和
事務局職員 職・氏名	福祉部長 野崎 修司 福祉部高齢介護課長 山岸 弘通 健康医療部いきいき健康長寿課長 荒井 幸子 福祉部高齢介護課主幹 柳田 尚季、佐藤 喜美子、杉山 大綱、 萩原 宏和 騎西福祉健康担当主幹 渡辺 努 北川辺福祉健康担当主幹 紫原 克彦 大利根福祉健康担当主幹 渡部 一樹 福祉部高齢介護課主事 佐藤 風沙
その他出席者 職・氏名	加須市社会福祉協議会生活支援コーディネーター 増田 章子
会議録の 作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要 な事項	

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
司会 (佐藤主幹)	1 開会 (省略)
萩原副市長	2 委嘱状交付 (省略)
萩原副市長	3 あいさつ (省略)
司会 (佐藤主幹)	4 議事 (1) 会長の選出 本協議会の会長、副会長につきましては、加須市介護保険条例施行規則第 9 条により、委員の互選により選出することとなっております。 ご意見等ございますか。
佐藤委員	事務局案があればお願いします。
司会 (佐藤主幹)	事務局としては、会長を平成国際大学の三宅委員に、副会長を前回に引き続き内田委員にお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか。 ＜異議なし＞との声あり それでは、会長を三宅委員、副会長を内田委員にお願いします。 ＜三宅会長、内田副会長あいさつ＞ 議事の進行につきましては、介護保険条例施行規則第 11 条第 1 項の規定により、会長が議長となり進行することとなっておりますので、これ以降の進行につきまして、三宅会長、よろしくお願いいたします。
議長 (三宅会長)	それでは、議事に入らせていただきます。 委員の皆さまにおかれましては、ご多忙の中、お集まりいただいております。本日の審議時間は約 60 分、2 時 30 分を目安に、限られた時間の中で、より多くの委員の方からご意見をいただきたいと思いますと考えております。 資料も事前にいただいておりますので、事務局から議事の説明を簡潔に受けてから、そのあとに委員の皆さん

	の質疑などを受ける形で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。 <はい>という人あり それでは、事務局から議事について説明を受けた後、質疑などの場を設けるということでお願いします。 事務局、説明をお願いします。 (事務局説明) (2) 令和4年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算(案)等について (3) 第4次加須市高齢者支援計画の進行管理【令和4年度の実績と評価】 (4) 第5次加須市高齢者支援計画の策定に係る検討について (5) 地域ブロンズ会議から生まれた支え合い活動
事務局 (山岸課長)	
(萩原主幹)	
(杉山主幹)	
議長 (三宅会長)	事務局の皆様、詳細なご説明ありがとうございました。 質疑は一問一答の形で進めたいと考えております。それでは、ご質疑、ご意見等がありましたら、ご発言をお願いします。
加藤委員	決算(案)につきまして、歳入歳出を見ますと、6億8,000万からの繰越金ということで安定はしているのかなと感じたところでございますけれども、歳入につきまして、4款の国庫支出金の中の国庫補助金の中の上から4番目と5番目、保険者の機能強化推進交付金、介護保険保険者努力支援交付金が前年よりも128.82%、その下が143.44%と増加しております。これは説明のほうを読みますと、いろいろ国とか県で評価された結果ということが書いてありますけれども、保険料を抑制するためにも、今後もこのように介護予防に力を入れていただきたいと思います。それが決算の感想です。
事務局 (山岸課長)	加藤委員さんから激励のお言葉と受け止めております。ようやくコロナも過ぎ去ろうとしている現状でございますので、休んでいた間のエネルギーをこれからこの事業の推進に向けて、より一段と努めてまいりたいと思いますので、今後とも引き続き温かい見守りをよろしくお願いいたします。

議長 (三宅会長)	地域ブロンズ会議から生まれた支え合い活動について、生活支援の（１）移動スーパーの実施、こちらは非常に利便性が高いというか、高齢者の方々にはいい事業かなと感じております。今は 81 か所ということで、今後、ニーズに応じてだと思いますが、増やす予定はございますでしょうか。
事務局 (杉山主幹)	今は市内全域を回っているわけではなく、ほかの地域からもぜひ来ていただきたいといったお声ですとか、アンケートで反応がございます。なので、増やしていくというところで検討しているところでございます。
梅澤委員	今、実際まるたけさんの移動販売は、その場所に 1 週間に何回くらい行くんでしょうか。
事務局 (杉山主幹)	まるたけさんにつきましては、週 4 で回っております。
梅澤委員	週 4 ですか。今は十分足りているのでしょうか。
事務局 (杉山主幹)	現状は、それで運行しているところでございます。
秋葉委員	ブロンズ会議の資料を読んで、マイナンバーカードの出張申請サポートというのが、これは当然いいことだと思うのですが、今世の中でマイナンバーカード反対ですとか、いろいろおっしゃる方がいますが、今は支障なくできているのですか。中には高齢者の方はもう絶対やらないとか、返納とか言っている方がいて、この事業ってちょっとやりにくいところがあるのかなと思うんですけれども、実態としてどうなんでしょうか。
事務局 (杉山主幹)	このマイナンバーの申請支援を行ったときは、申請をしたいという希望者の方に来ていただいたという運びでございます。実際、その後マスコミでもいろいろと取り上げられているところではございますが、ブロンズ会議を通じて、そのときの申請のことで何か問合せがあったということは、今のところ承知はしていないところでございます。
神田委員	ブロンズ会議は、地域支援、生活支援、あと高齢者の見守りということで活動しておりまして、日常的に市の高齢課の方、社協の支部とも連携して進めています。前回の会議でも私は申し上げたんですが、地域ブロンズ会議を今後普及、拡大していくためには、やはり第 3 層と

言われている各自治会レベルまでこの活動を広げていく必要があると考えています。

地元としても具体的にできるところから進めようということで、私の所在します下高柳で、つい先日、4名ばかり有志のサポーターが結集して支援活動を行いました。ご主人が不自由な70歳の高齢者のお宅で、3年ぐらい放置していて荒れ放題だった庭の草取りと植木の枝の整理の要望をいただいて、一応全部きれいにしてきました。申込者も、すっきりと広々とした庭ができてこれによってようやく窓も開けられると非常に喜んでくれたんです。

そこで活動自体は評価されたのですが、実はボランティア保険をかける必要があったわけですが、その財源をどこに求めるかということが解決できていなくて、そういうところでできるだけ市の援助をいただきたいと思います。

これから加須市全体、恐らく60か所以上の自治会があると思うのですが、自治会レベルでこういったブロンズ会議を実践していくためには、人・もの・場所だけではなくて、やはり資金面でもきちんとした支援体制を取っていただかないと、具体的に現場で動く地域の有志は非常に大変です。ただでさえボランティアというところに、自分の資金まで投入してボランティア保険に入るということは、この活動の範囲を狭めてしまうと思います。

これも前回、私は会議で申し上げたんですが、リサイクル活動を加須市では非常に徹底してしまっていて、全国で何番目かの優良都市になっているわけですが、そのリサイクル活動も、必要な人・もの・金は全て加須市で面倒を見てくれているんですね。そういうバックアップがあってから自治会は活動して、完璧なリサイクル活動の実績を今は上げているんだろうと思いますけれども、そのシステムを生活支援の日常活動に広げていくのであれば、やはり同じような人・もの・金のニーズが出たときに、きちんと行政でバックアップして、その体制を築いて欲しい。

今のブロンズ会議は、会議の支援はしますと。ただ、活動の支援も、資金援助をするところまで予算は持っていません。そういうスタンスですね。

ですけど、予算化が足りていない活動をこれ以上広げるのは、恐らく限界があると思います。会議を促すためのだけのブロンズ会議であれば、これはもう絵に描いた餅にしかありませんから、やはり自治会の活動を保障するためのシステム設計、そういう予算措置をぜひ加須市として検討していただきたいです。これは前回の会議でも

	申し上げたんですが、その後の進展が全くなされてい ないようですので、ぜひそれを要望したいと思います。
事務局 (杉山主幹)	先ほどのお金のことにつきまして、今後ブロンズ会議 としてどういった活動がこれから広がっていくか、どれ くらいの規模になるか、そういったことも含めて研究と ご意見を踏まえた上での検討を進めていければと考えて おります。
梅澤委員	市長が率先してやってもらいたいと思います。
事務局 (山岸課長)	貴重なご意見をいろいろありがとうございます。前回 のブロンズ会議のほうでも、神田委員さんには貴重なご 助言等をいただいていたところでございます。先ほども ご案内、ご説明がございましたが、社協とも一緒にやら せていただいている事業ということもございますので、 社協も含めた形で来年度への取組、予算取り等につつま しても、さらに協議を深めていければと考えております。 引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願いい たします。
三宅会長	ありがとうございました。 それでは、ちょっとお時間も迫っていますので、ほか にご質問等はよろしいでしょうか。
	<なし>の声あり
三宅会長	この辺りで一度終わりたいと思います。委員の皆様 に本日いただいた意見、指摘事項等を事務局で確認した 後に、本日の議事を本協議会として承認するというこ とでよろしいでしょうか。
	<異議なし>の声あり
三宅会長	ありがとうございます。それでは、議事について、本 日の協議結果を踏まえて承認とさせていただきます。 次に、議事（６）その他ですが、事務局から何かあり ますか。
司会 (佐藤主幹)	事務局より事務連絡させていただきます。次回の介護 保険運営協議会は令和５年１１月１７日の金曜日を予定 しております。また改めて開催通知は送付させていただきます ますが、ご出席賜りますようよろしくお願いいたします。 以上です。

三宅会長

ありがとうございます。次回は、11月17日の金曜日
ということでございます。

以上で議事は全て終了いたしました。長時間にわたり
熱心なご審議をいただきましてありがとうございました。
今後とも介護保険事業の円滑な実施に向けて、委員
の皆さま方のご協力をお願い申し上げまして、議長の務
めを終わらせていただきます。ありがとうございました。

内田副会長

5 閉会
(省略)

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和5年8月26日

署名

三宅 仁